

17年平和行進 FAX News NO 07

2017年国民平和行進大分県実行委員会 連絡先・090-2511-4414 7月13日

行進10日目

沿道の好反応に足取りも軽く

天気も良くなってきた。暑い1日になる予感、昨日を上回る参加者、県医療福祉労連など若者の参加が多く平均年齢もぐっと下がる。

別府市東部地区を歩くこのコースは沿道の人たちの反応は何時もあたたかい。この日も家やお店の中から出てきて拍手し、「ご苦労さん」と声をかけてくれる。車の中からもよく手を振ってくれる。「少しでもいいですか」のと買い物帰りのオジサンが200m位一緒に歩いた。

出発時は曇もあったが、歩くにつれ青空が広がってきたが、沿道の声援に励まされた行進だった。

副町長政府の態度の疑問・日出町

午後1時に別府市から日出町に行進が引き継がれた。午後暑さはますます厳しくなり、今年初めての“猛暑”の中の行進になった。冷房の効いた日出町役場に着き一息つく。

町への要請行動では町長が来客中で副町長と総務課長らと懇談、副市長は「暑い中歩き続けて核兵器なくせと訴え続けていることに敬意を表します。体に気をつけて下さい。」「核兵器禁止条約に唯一の被爆国日本の政府が参加しないのはどうかと思う。」と語りました。

行進12日目

城下町～仏の里～昭和の町を歩く

行進12日目、明け方まで降っていた雨も上がり、雲は多いが今日も暑くなりそうな天気。今日は城下町・杵築市、仏の里・国東市、昭和の町・豊後高田市の3市を歩く。

被団協の今村さんが元気に行進・杵築市

最初の杵築市は城下町の風情を色濃く残す坂の街、町並みもよく保存されていました。沿道の反応もよく、「長崎まで歩きます」と言うと、家から出てきて手をたたき揮むように声援を送ってくれました。大分県被団協杵築速見支部長の今村シズ(80)さんが参加し元気に杵築市内を行進しました。自治体要請にも参加し高齢化した被爆者の実情をお話しし自治体の支援を要請しました。

核兵器廃絶 原発反対は皆さんと同じ・国東市

国東市では市長不在で副市長が対応し「市長も私たちも戦争には絶対反対だ、核兵器廃絶や原発に反対する思いは皆さんと同じ、国東は伊方原発に最も近く、再稼働にはいち早く抗議しました。市長に署名をお願いし送ります。」と約束しました。

市長が初めて行進団と会う・豊後高田市

大石市議の尽力もあり、今年初めて市長と直接会うことができました。来客の予定がある中で時間をつくっての面談でした。市長は私たちの話をよく聞き、「皆さんの粘り強い困難な運動には頭が下がります。暑い中だが頑張ってください」と自らの手で署名とペナントを手渡しました。